

平成18年4月14日

石巻市長
土井喜美夫様

提 案 書

河北地域まちづくり委員会

平成18年4月14日

石巻市長 土井喜美夫 様

河北地域まちづくり委員会
会長 武山 満 ⑩

石巻市総合計画の策定にあたって（提案）

河北地域まちづくり委員会は、石巻市における合併前の各地域の均衡ある発展及び活性化を図るため、平成17年9月22日に設置されました。

合併に際しては、合併協議会により旧市町の一体化の促進と地域の均衡ある発展及び住民福祉の向上を図ることを目的として新市まちづくり計画が策定されました。

本委員会においても、まちづくり計画の概要説明を受け、その内容や地域として重点的に取り組むべき事項は何なのかなどについて検討して参りました。

今回、「まちづくり計画」を包含した新市の市政運営の指針となる「石巻市総合計画」の策定に際し、市民の視点から率直な議論の結果を提案書として取りまとめましたので総合計画の策定にあたり反映下さるよう別紙のとおり提出いたします。

なお、本提案書の作成にあたっては「新市まちづくり計画」の施策の体系（基本方針・主要施策）に区分し取りまとめを行うとともに、本委員会において多くの委員から意見が出された2項目を重点施策として提案させていただきましたことを申し添えます。

石巻市総合計画の策定にあたっての提案

(1) 個性あふれる人と文化をはぐくむまち（教育・文化）

◇教育環境の整備

○河北地域を含め本市には、改修や耐震化を要する学校施設が多いことから、児童・生徒の教育環境の充実を図るため、その重要性を認識され早急な整備を提案します。

◇スポーツ振興

○河北地域には、総合センターや追波川河川運動公園の中核施設があり、それらを核とした地域スポーツも盛んことから、今後ともその振興を図られるよう提案します。

◇食育の推進（地産地消の推進）

○河北(石巻)産農産物の販売拡大と地産地消を推進するとともに、食育基本法の制定に伴い「健全な食生活を実践できる人間を育てる」ため、次の事業を提案します。

- ・食育推進交流シンポジウムの開催
- ・地域に根ざした学校給食推進事業の展開
- ・郷土の食材を使用した高校生の料理コンクール「食の甲子園大会」の開催

(2) 健康で安心を実感できるまち（健康・福祉）

◇子育て支援

○今後、本市においても人口が減少し、まちの衰退が予測されることから、その対策として、子育て支援センターの設置を含めた総合的な子育て支援の施策展開を図られるよう提案します。

◇福祉の充実

○まちづくり計画にも明記されていますが、地域格差のない老人福祉施設の整備推進、介護施設の設置、福祉ボランティアの育成・支援、老人クラブ等の交流推進を提案します。

また、働く意欲や能力があるにも関わらず、障害があるということで働く場が得られない方のため、企業や関係機関との連携により障害のある方の雇用機会の充実を図られるよう提案します。

◇食の安全

○食材王国石巻市を消費者の観点からも確立するため、農協、漁協、企業等関係機関と連携のうえ食の安全・安心に必要な施策の推進に努められるよう提案します。

(3) 活力と創造に満ちた産業のまち（産業・雇用）

◇農林水産業の活性化

○河北地域の基幹産業は農業ですが、経営の安定と生産性の高い農業を確立するため、ほ場整備などの生産基盤の整備を推進するとともに農林水産業の計画的な生産、販売と後継者の確保を図られるよう提案します。

◇森林環境の保全と林業振興

○河北地域は、恵まれた自然環境下にあるとはいいながら近年、山林の荒廃が目立っており、間伐及び林道の修復に取り組むとともに第一次産業の活性化を図るため植林事業、山林の手入れを大手企業の参画を得ながら行うことを提案します。

◇地域資源を活かした地域づくり

○恵まれた自然環境や地場産品などを有機的に結び付け観光に活かすなど、河北地域の良い点を伸ばす施策の展開を図られるよう提案します。
また、風光明媚な地でありながら観光に対するPRが不足していると思われるので、その対策を図られるよう提案します。

◇地場産品の振興

○地場産品の開発とそれら産品を前面に出した施策展開を図るとともに河北の特産品である「しじみ」の生息環境の整備（保全）とその消費拡大を図ることを提案します。

◇飯野川商店街の活性化

○河北地域の活性化のためには、中心市街地である飯野川商店街の再生が欠かせないことから、その対策を図られるよう提案します。

(4) 安全で便利に暮らせるまち（生活環境）

◇道路の整備（維持補修）

○地域によっては生活基盤・産業基盤としての道路の幅員が狭く歩道が未整備のため、その整備促進及び市道における未補修箇所が目立つので、早急なる維持補修を提案します。

◇防災対策の充実と防犯灯の整備

○市民が安全・安心な中で暮らしていくため、災害に強いまちづくりと災害に対応した住民意識の高揚を図られるよう提案します。

また、地域によっては防犯灯が不足しており、防犯対策上からも、その整備を提案します。

◇河川の整備

○河北地域は自然環境に恵まれています。反面多くの1級河川を抱えており、河川の増水・氾濫による災害の発生が危惧されることから、国・県と連携しその整備を提案します。

◇定住促進と公営住宅等の供給

○人口の減少を最小限に止め若者の定住を促進するため、公営住宅を含めた安価な住宅の供給を提案します。

◇情報通信基盤の整備

○通信用インフラの整備（携帯電話の使用できない地域の解消）と緊急連絡用としての各企業・事業所や医療機関への光ファイバーケーブルと端末パソコンの整備を提案します。

◇墓地環境の整備

○高齢化の進展に伴い、共同墓地等の墓地環境の整備を提案します。

(5) 環境と共生する快適なまち（自然環境との共生）

◇不法投棄対策

○河北地域は恵まれた自然環境にありますが、近年、多くの不法投棄が見受けられますので、将来に向けた真剣な取り組みを提案します。

◇自然環境の保全

○水と緑の河北地域を始め石巻市は、自然環境が豊かで景色が美しい。この風景を大事にし、子孫に残していたため、各種事業の推進にあたっては、自然環境への十分な配慮をされるよう提案します。

◇環境意識の向上

○我々を含め市民の環境に対する意識がまだまだ低く、特に若者のマナー向上が必要であると考えられますので、その対策を講じられるよう提案します。

(6) 市民が主役の創造のまち（市民活動・人材）

◇市民の自治意識の高揚

○合併により地方切捨てとならないように望むものですが、我々市民も全てを行政に頼るのではなく、市民にできることは市民で力を合わせて解決することが必要ですので、このための仕組みを創り、市民側に示すことを提案します。

○住民自治の原点である行政区（町内会）の結束を密にすることで、防災、防犯、子育てを担え、潤いと活力のある地域づくりが可能となりますので、その十分な支援を提案します。

(7) パートナーシップで創るまち（効率の高い行財政）

◇支所機能の充実と地域格差のない市政

○何でも用件が処理される相談窓口が設置され、住民が住みよいと感じられる総合支所の充実と市の規模が大きくなり地域格差が生じないよう、バランスのとれた健康で安心を実感できるまちづくりの推進を提案します。

◇財政の健全化と行政運営の効率化

○財政の健全化を図りつつ、地域の良い点を伸ばしていけるよう住民と行政の連携強化を提案します。

◇市民が主体の行政推進と広聴機会の充実

○行政と市民の距離をあげない、市民の声に耳を傾ける市政の展開及び各界各層からの意見を大切に、参加者（特に若い方々）がなんでも話せる場と雰囲気をもてる広聴機会の充実を提案します。

◇地域広報紙の活用

○合併により旧町の広報紙が廃止されたことに伴い、地域の情報が少なくなっていますので、枚数を少なくしても地域独自の広報紙（お知らせ版など）の創刊を提案します。

(8) 重点施策（リーディングプロジェクトとの関連）

新市まちづくり計画のリーディングプロジェクトとしても位置付けられていますが、本委員会においても多くの委員から意見が出された「①少子化対策」及び「②雇用の機会の創出」の2項目を重点施策として提案します。

①少子化対策（雇用・子育て）

○産業、福祉、雇用、住宅、後継者、未婚者増、女性の自活など少子化には様々な要因が考えられますが、宮城県第二の都市として市民が一丸となり、元気のあるまちを目指し次の取り組みを提案します。

- ・母子保健医療制度の整備（安心して出産・育児ができる体制整備）
- ・保育サービスの充実（延長保育、休日保育など）
- ・放課後児童クラブの設置
- ・教育に伴う経済的負担の軽減
（奨学金制度の拡充、第3子の保護者負担の軽減）
- ・企業に対する雇用環境整備の要請（育児休業や円滑な職場復帰）
- ・男女共同参画社会の形成の推進

②雇用の場の創出

- 農業（米価低迷）、商業（地元商店の衰退）、建設業の不振、若年層の就職難など地域の暗いムードを払拭し、地域を活性化するためには、行政、民間、土地所有者等の関係者が一丸となって雇用の場を創出することが重要です。

また、少子高齢化は人口の減少のみならず税収（歳入）減に帰結することから、雇用の場の確保や新規産業の誘導により住民所得の向上と経済の安定を図ることを最優先に提案します。

- 河北地域のみならず全市的な重要課題である人口の定着化や子育て支援を図るため、前述した「雇用の場の創出」の中でも特に若者や女性などの就労の場の確保を提案します。